

きらきら

個人面談のご協力ありがとうございました

1月12日から1週間かけて個人面談を行いました。今回は、オンラインでの面談となりましたが、保護者の皆様からはお子様の学校や家庭での様子をお伝えいただき、指導員からはクラブでの様子をお伝えさせていただきました。お話いただいたことを子ども達の成長につなげられるよう、今後の保育に活かしていきたいと思っております。お忙しい中、ご協力くださりまして、本当にありがとうございました。

みんなで遊ぶ！！

子ども達は寒くても本当に元気です。おやつを食べ終わると、外へ向かい、一輪車、野球、縄跳び、バスケット、鬼ごっこがすぐにスタートしています。秋頃に比べると、大人数で遊ぶことが多くなり、1年からも5年生まで入り混じって遊んでいる様子もよく見られるようになりました。

個人面談では「うちの子は仲良く遊んでいますか?」という質問を多くいただきましたが、安心して下さい。遊んでいます。もちろん、タイミングによって一人になりたい時間があったり、友だちと意見が合わないこともあったりしますが、そのような時は違う遊びに入るなどして過ごしています。

特に1年生は、年度当初は自分の気持ちをうまく言葉で表現することができず、その場に立ち尽くしていたのですが、「入れて!」「私は〇〇をやりたい!」「次は私の番ね!」と話すことができるようになってきました。そうすると、年上の子たちは「いいよ」や「わかった」と応えてくれて、一緒に遊んでいます。学年が違ってみんな遊ぶことができるのは素敵ですね。

感染対策

緊急事態宣言下において、保護者の皆様にはご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。まだまだ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらない状況が続いていますので、引き続き、クラブでも感染予防に努めていきます。

クラブでは入室する子どもたちの体温の測定と健康観察、手洗いの励行、室内および車内の換気、加湿空気清浄機の設置、来所者の体温の測定と健康観察、アルコールの設置を実施しています。

保護者の皆様には、朝の体温と健康状況を連絡帳にてお知らせいただいておりますが、体調不良の場合には家庭保育をお願いいたします。また、クラブの利用中に体調不良になってしまった場合は、お迎えを要請しますので、ご理解とご協力をお願いします。



左が次亜塩素酸スプレー 室内の消毒に使っています。

右がアルコール 入室の際に使用します

右が手首で検温する体温計です。

入室時やバスに乗る前に測っています。



加湿機能付き空気清浄機。

各部屋に2台ずつ設置しています。

2月の予定

2日（火）節分

11日（木）建国記念の日

23日（火）天皇誕生日

25日（火）誕生日会



コラム ⑱ お箸持てますか？

冬休み期間や始業式の日、クラブでお昼ごはんを食べました。コロナ禍ということで、みんなで楽しくというわけにはいきませんでした。やはり、友だちとご飯を食べるとするのは楽しいことです。

しかし、子どもたちの手元を見ていると気になってしまったりすることがありました。箸からウイナーをつるっと滑らせてしまう子。唐揚げにお箸を突き刺して食べる子。弁当箱から丼のようにご飯をかきこむ子。子どもたちの食事の後は、いろいろな物が床にポロポロと落ちています。

原因は何だろう？と、子どもたちの手元をよく見ると、箸の持ち方が正しくできていない子が多くいました。

箸を正しく持つことで効率よく食べることができます。箸は小さな二本の棒にすぎませんが、「つまむ」ことや「はさむ」ことで口元まで「運ぶ」ことができます。また、豆腐などを「すくう」ことも、魚のような柔らかな肉を「切り」分けることもできます。正しく箸を持つことができないと、食事に時間がかかったり、食べたいものを食べられなかったり、洋服を汚したりするかもしれません。

なお、正しい持ち方については多くの方が書かれていたり、動画になっていたりするので、それらを参考にしてください。以下に練習の方法や、上手になるコツを挙げます。ぜひ、ご家庭で楽しく練習してください。

～おすすめの練習法～

箸の練習は食事以外の場面から始めましょう。食事の時に練習すると、お箸使うことがプレッシャーになってしまいます。はじめは100円ショップ等で売られているデコレーションボールをコップに移す練習がおすすめです。おはじきよりもつまみやすいです。大きさも大小様々に売られていますので、慣れてくると小さい物で練習するのが良いかと思います。ただし、無理強い禁物です。あくまで楽しい雰囲気、子どものお箸を使いたいというモチベーションを上げるようにすることが大切です。

～練習の時期～

いつ始めても、遅すぎるということはありません。お子さんが直したいと思ったときがチャンスです。給食の時間に友だちから指摘されたなどがきっかけになるかと思いますが、発達段階でいうと、手の筋力や柔軟性は1・2年生頃までにはお箸が持つことができるように成長していると言われています。幼児期には難しいお子さんもいますが、小学生であれば、ほとんどの子が正しい持ち方ができるようになります。反対に10歳以降になると、自己流の持ち方が習慣化してしまい、直すのに時間がかかってしまうそうです。

～上手になるコツ～

- 箸の長さは手の大きさに合ったものを用意しましょう。
- 掴みやすい加工がされているものから練習しましょう。「できた!」という達成感です。